



ス 第 370 号
平成29年9月21日

各都道府県教育委員会教育長 殿
各指定都市教育委員会教育長 殿

宮城県教育委員会
教育長 高橋 仁
(公 印 省 略)

平成29年度薬物乱用防止・飲酒等教育シンポジウム宮城大会の開催
について (依頼)

標記につきまして、別添開催要項のとおり開催いたします。

つきましては、本大会の趣旨を御理解のうえ、貴所管の学校及び関係団体、附属学校を
置く国立大学法人及び私立学校等へ御周知いただくとともに、参加について御高配いただ
きますようお願いします。

なお、参加申し込みについては、別紙様式参加申込書に取りまとめの上、下記によ
り御提出いただきますようお願いいたします。

記

- 1 提出方法 別紙様式を電子メールへの添付により提出願います。
*ファイル名は「(都道府県・指定都市名)薬乱シンポ」でお願いします。
- 2 提出先 宮城県教育庁 スポーツ健康課 学校保健給食班
電子メール supokeng@pref.miyagi.lg.jp
※「lg」は、アルファベットの「エル・ジー」
- 3 提出期限 平成29年10月10日(火)

【連絡先】

宮城県教育庁スポーツ健康課
学校保健給食班

担当 : 金野・後藤

電話 : 022-211-3666 (直通)

FAX : 022-211-3796



平成29年度薬物乱用防止・飲酒等教育シンポジウム宮城大会開催要項

1 趣 旨

青少年における薬物乱用問題については、薬物乱用防止教育等により児童生徒の規範意識の向上や青少年の覚醒剤・大麻事犯の検挙人数の大幅な減少など、一定の成果を上げている。一方で、近年、危険ドラッグ等の使用による健康被害や二次的な犯罪がおこっている。依然として、乱用される薬物が多様化していることから青少年への拡がりに対して継続的な未然防止対策が必要である。

学校においては、薬物乱用防止教育のより一層の充実を図るため、教育活動全体を通じて指導を行うとともに、家庭・地域と連携を図り、社会一体となり普及・啓発を行うことが不可欠である。

文部科学省では、平成25年8月の「第四次薬物乱用防止五か年戦略」の主旨を踏まえ、薬物乱用防止教育の充実と薬物乱用防止教室の開催の推進を図り、教職員等を対象としたシンポジウムを開催してきた。

また、平成26年度に成立したアルコール健康障害対策基本法の主旨を踏まえて、不適切な飲酒はアルコール健康障害の原因となり、アルコール健康障害は本人の健康の問題だけではなく、その家族への深刻な影響や重大な社会問題を生じさせる危険性が高いことに鑑み、学校、家庭、地域が連携して取り組む必要がある。

そこで、児童生徒が現在及び将来の生活において健康・安全の課題に直面した場合に、的確な思考・判断に基づいて適切な意思決定を行うことができるよう、指導するための契機とすることをねらいとして、標記シンポジウムを開催する。

2 主 催

文部科学省、宮城県教育委員会

3 後 援

宮城県学校保健会（申請中）

4 開催日時

平成29年10月17日（火） 午後0時50分～午後4時40分

5 会 場

仙台国際センター

〒980-0856 宮城県仙台市青葉区青葉山無番地 TEL (022) 265-2211 Fax (022) 265-2485

6 参加対象者（1000名予定）

（1）小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校等の学校関係者

（2）薬物乱用防止教育関係者

（学校医、学校歯科医、学校薬剤師、警察関係者、保健福祉関係者、環境生活関係者、薬物乱用防止指導員、教育委員会担当指導主事、その他薬物乱用防止教室開催に関わる者等）

7 日 程

12:20	12:50	13:00	13:20	14:10	15:00	15:15	16:35	16:40
受付	開 会 行 事	文部科学省 説 明 (20分)	講 演 I (50分)	講 演 II (50分)	休 憩	シンポジウム (質疑応答含む) (80分)	閉 会 行 事	

- (1) 開会行事 あいさつ 宮城県教育庁
- (2) 説 明 「薬物乱用防止五か年戦略における薬物乱用防止教室の位置付けと必要性」
文部科学省初等中等教育局 健康教育・食育課
健康教育調査官 小 出 彰 宏
- (3) 講 演 I 「依存症の病態と薬物乱用防止教育のあり方」
地方独立行政法人神奈川県立病院機構
神奈川県立精神医療センター 専門医療部長 小 林 桜 児
- (4) 講 演 II 「青少年における薬物乱用の現状と薬物乱用防止教育の必要性」
東 京 薬 科 大 学 教 授 北 垣 邦 彦
- (5) シンポジウム
テーマ「学校・家庭・地域が連携した喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育
～多様化する薬物乱用問題に対応するために～」

コーディネーター	東京薬科大学	教 授	北 垣 邦 彦
シンポジスト	大崎市立古川中学校	校 長	鈴 木 文 也
	宮城県薬剤師会	常任理事	北 村 哲 治
	神奈川県立精神医療センター	専門医療部長	小 林 桜 児
	文部科学省初等中等教育局	健康教育・食育課	
		健康教育調査官	小 出 彰 宏

8 参加申込み

- (1) 申込み期限 平成29年10月10日（火）
- (2) 申込み方法 別紙参加申込書を電子メールまたはFAXにて送付してください。
- (3) 申 込 み 先 宮城県教育庁 スポーツ健康課 学校保健給食班
E-mail supokeng@pref.miyagi.lg.jp
※「lg」は、アルファベットの「エル・ジー」
FAX 022-211-3796

(4) 留 意 点

都道府県・指定都市教育委員会管内の参加者については、都道府県・指定都市教育委員会においてとりまとめの上、上記へ申込みください。なお、参加予定数を超える申込みについては、会場定員に余裕がある場合にのみ受け付けることとし、その受付の可否については各都道府県・指定都市教育委員会へ連絡します。

9 問合せ先

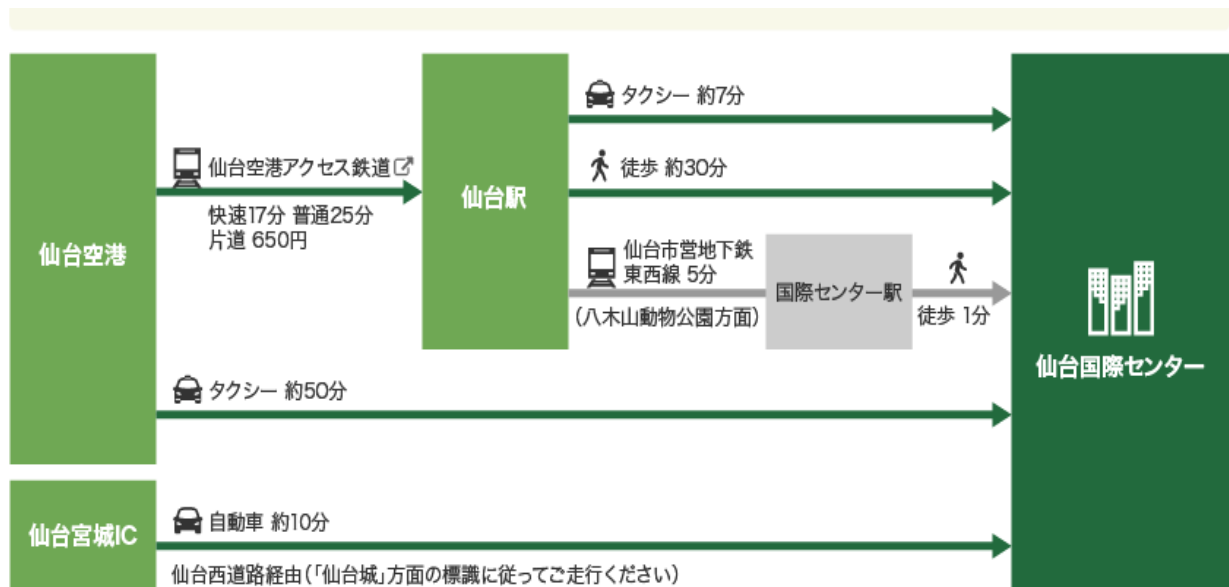
宮城県教育庁 スポーツ健康課 学校保健給食班
〒980-8423 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8-1 TEL 022-211-3666
FAX 022-211-3796

10 その他

- (1) 宿泊については、主催者で取り扱わないので、各自で確保してください。
- (2) 駐車場が限られておりますので、できるだけ公共交通機関を御利用ください。
(最寄駅：地下鉄東西線 国際センター駅)

仙台国際センター 交通アクセス

〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地



鉄道をご利用の場合

